

No.24 武士の成長

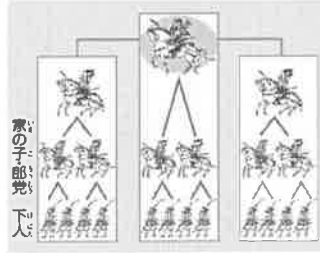
年 組

氏名

/8問

次の () に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

- 1 地方の武士たちが、貴族を主人にむかえ、多くの家来を従えてつくった右の集団を (①) という。



- 2 10世紀の中ごろ、北関東で、周辺の (①) を率いて反乱をおこした人物は (②) である。

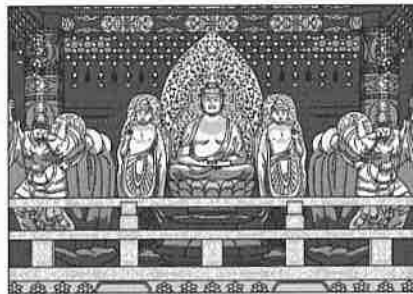
- 3 10世紀の中ごろ、瀬戸内海地方で、周辺の (①) を率いて反乱をおこした人物は (③) である。

- 4 天皇の子孫とされ、主に東日本に勢力を広げた武士団は (④) である。

- 5 天皇の子孫とされ、主に西日本に勢力を広げた武士団は (⑤) である。

- 6 東北地方の平泉を拠点に成長した武士団は (⑥) 氏である。

- 7 (⑥) 氏は、浄土へのあこがれから、平泉に右の (⑦) 金色堂を建てた。



- 8 農民が領主に納めた米や布、絹などを (⑧) という。

【解答】

① 武士団

② 平将門

③ 藤原純友

④ 源氏

⑤ 平氏

⑥ 奥州藤原

⑦ 中尊寺

⑧ 年貢

貴族社会のなかで、武士がどのようにして成長してきたのか確認しよう。



No.25 武士の政権

年 組

氏名

/9 問

次の () に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

- 1 天皇が位をゆずってついた地位を (①) という。
- 2 1086 年、(②) は位をゆずって (①) になった後、
摂政や關白の力をおさえて政治を行った。この政治を
(③) という。

- 3 このころ寺社も多くの荘園を持ち、右
のような武装する (④) (僧)
をかかえて勢力を広げた。



- 4 右の (⑤) は、保元の乱と平治の
乱で活躍し、源氏を破って勢力を広げたのち、
武士として初めて (⑥) にな
った。



- 5 (⑤) は、航路を整え、兵庫(神戸市)の港を整備して、中国
の (⑦) と貿易を行った。
- 6 (⑧) は、弟の (⑨) などを送って平氏を
追いつめ、平氏は壇ノ浦(山口県)でほろんだ。

源氏や平氏が、朝廷と関わりながらどのように
勢力を広げていったのかをおさえよう。



【解答】

- ① 上皇
- ② 白河天皇
- ③ 院政
- ④ 僧兵
- ⑤ 平清盛
- ⑥ 太政大臣
- ⑦ 宋
- ⑧ 源頼朝
- ⑨ 源義経

No.26 鎌倉幕府	年 組
	氏名

/11 問

次の () に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

- 1 源頼朝は、平氏をほろぼしたのち、
 (①) に任じられ、右の
 (②) に幕府を置いた。



- 2 鎌倉幕府において、地方の国ごとに置かれた役職を (③) という。

- 3 鎌倉幕府において、地方の荘園や公領ごとに置かれた役職を (④) という。

- 4 将軍が、武士に対して、以前から所有していた領地を保護したり、新しい領地をあたえたりすることを (⑤) という。

- 5 武士が、京都の天皇の住まいや鎌倉の幕府を警護し、戦いがおこったときには、生命をかけて軍役に果たすことを (⑥) という。

- 6 将軍と「(⑤) と (⑥) の関係」で結ばれ、将軍に忠誠をちかつた武士を (⑦) と呼ぶ。

- 7 鎌倉幕府の実権をにぎった北条氏が独占した地位を (⑧) という。

- 8 1221年、朝廷の勢力の回復をはかって後鳥羽上皇が挙兵したが、幕府に敗れた。このできごとを (⑨) という。

- 9 (⑨) ののち、朝廷を監視したり、西日本の武士を統率したりするために、京都に (⑩) が置かれた。

- 10 執権の北条泰時が執権政治を進めるために、武士の社会で行われていた慣習に基づいて定めた右の法を (⑪) という。

— 武士が20年の間、実際に土地を支配しているならば、その権利を認める。
 (部分)

鎌倉幕府の仕組みや、将軍と御家人がどのような関係で結びついていたのかをとらえよう。



【解答】

- ① 征夷大將軍
- ② 鎌倉
- ③ 守護
- ④ 地頭
- ⑤ 御恩
- ⑥ 奉公
- ⑦ 御家人
- ⑧ 執権
- ⑨ 承久の乱
- ⑩ 六波羅探題
- ⑪ 御成敗式目(貞永式目)

No.27 武士と民衆の生活

年 組

氏名

/8 問

次の () に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

1 鎌倉時代、農民は (①) や公領の領主に年貢を納めていた。

2 地頭と領主との間には、たびたび争いが起こった。幕府は、土地を半分にする、右のような (②) などによって争いを解決するようになった。



3 武士の家は、一族の長である (③) が中心になって子や兄弟などをまとめ、団結していた。

4 領地は (④) 相続で、女子にも分けあたえられたので、女性の地頭も多くいた。

5 常に武芸によって心身をきたえ、名誉を重視し、恥をきらう態度や武士らしい心構えのことを (⑤) という。

6 鎌倉時代、農作業には (⑥) や馬などの家畜が利用され、鉄製の農具がいつそう普及した。

7 鎌倉時代に行われるようになった、同じ畑で米と麦を交互にする農業を (⑦) という。

8 右のように、寺社の門前や交通の便利な場所に開かれ、商品を売買した市を (⑧) という。



【解答】

- ① 荘園
- ② 下地中分
- ③ 惣領
- ④ 分割
- ⑤ 弓馬の道(ものふの道)
- ⑥ 牛
- ⑦ 二毛作
- ⑧ 定期市

鎌倉時代には地頭の力が強まったこと、農業や手工業がさかんになって、各地に定期市が開かれたことをおさえよう。



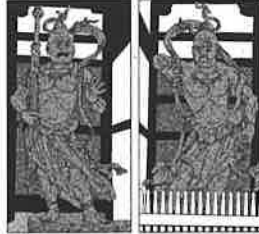
No.28 鎌倉時代の文化	年 組
	氏名

/9 問

次の () に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

1 (①) は、後鳥羽上皇の命令で編集された和歌集である。

2 運慶が中心となって制作し、東大寺南大門に安置されている右の彫刻作品は (②) である。



3 右の (③) は、分かりやすい文章で源平の争乱をえがき、琵琶法師によって語り伝えられた軍記物である。

祇園精舎の鐘の聲、
諸行無常の響きあり。
娑羅双樹の花の色、
盛者必衰のこころをあらわす。
おこれる人も久しからず、
只春の夜の夢のごとし。
たけき者も遂にはほろびぬ、
ひとえに風の前の塵に同じ。
(冒頭の部分)

4 (④) は、兼好法師がいきいきとした民衆の姿を取り上げて書いた随筆集である。

5 法然が、浄土信仰の教えを徹底し、念仏(南無阿弥陀仏)を唱えれば、だれでも極楽浄土に生まれ変わると説いた仏教の宗派を (⑤) という。

6 法然の弟子の親鸞が、阿弥陀如来の救いを信じる心を強調して農村に広めた仏教の宗派を (⑥) という。

7 一遍が、念仏の札を配ったり、踊りを取り入れたりしながら広めた仏教の宗派を (⑦) という。

8 日蓮が、法華経の題目(南無妙法蓮華経)を唱えれば人も国も救われると説いて広めた仏教の宗派を (⑧) という。

9 栄西や道元が、座禅によって自分の力でさとりを開こうとする (⑨) を宋から伝えて広めた仏教の宗派を臨済宗、曹洞宗という。

【解答】

① 新古今和歌集

② 金剛力士像

③ 平家物語

④ 徒然草

⑤ 浄土宗

⑥ 浄土真宗

⑦ 時宗

⑧ 日蓮宗 (法華宗)

⑨ 禅宗

新しい仏教では、それぞれの宗派がどのような教えを説いたのかを区別しよう。



No.29 モンゴルの襲来	年 組
	氏名

/9 問

次の () に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

- チンギス・ハンとその子孫が築いた、ユーラシア大陸の東西にまたがる大帝国を (①) という。
- (①) の5代皇帝の (②) は、都を大都在 (北京) に移し、国号を (③) と定めた。
- 1174年、元軍が博多湾岸に上陸し、集団戦法と火薬を使った武器で幕府軍を苦しめたときの戦いを (④) という。
- 1281年、幕府が海岸に築いた右の石塁や御家人の活躍で元軍が上陸できず、暴風雨にあつて大損害を受けたときの戦いを (⑤) という。
- 元の軍勢が二度にわたって日本に襲来したできごとを (⑥) という。
- 右の (⑦) は、(⑥) のときの執権である。
- 領地の分割相続によって生活の苦しくなった御家人を救うため、鎌倉幕府が出した法令を (⑧) という。
- 楠木正成らの協力を得て、1333年に鎌倉幕府をほろぼした天皇は (⑨) である。



元寇を節目に、鎌倉幕府の力がどのように弱まっていったのかを確認しよう。



【解答】

- ① モンゴル帝国
- ② フビライ・ハン
- ③ 元
- ④ 文永の役
- ⑤ 弘安の役
- ⑥ 元寇
- ⑦ 北条時宗
- ⑧ 徳政令
- ⑨ 後醍醐天皇

No.30 南北朝の動乱と室町幕府

年 組

氏名

/9 問

次の () に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

1 右の後醍醐天皇が始めた天皇中心の新しい政治を (①) という。

2 (②) は、武士の政治の復活をよびかけて挙兵し、1338年、北朝から征夷大将軍に任命されて、(③) を開いた。

3 (②) が京都に新たに天皇を立てると、対立していた後醍醐天皇は (④) (奈良眞) にのがれた。

4 京都と (④) の二つの朝廷が生まれ、約60年間の動乱が続いた時代を (⑤) という。

5 南北朝の動乱をしずめて統一を実現し、朝廷の内部にも勢力を広げ太政大臣となって権力をにぎった3代将軍は、右の (⑥) である。

6 室町幕府において、将軍の補佐役として置かれた役職は (⑦) であり、これには侍所の長官とともに、有力な (⑧) が任命された。

7 国司の権限を吸収し、国内の武士をまとめ、独自の支配をするようになった (⑧) を (⑨) という。



【解答】

① 建武の新政

② 足利尊氏

③ 室町幕府

④ 吉野

⑤ 南北朝時代

⑥ 足利義満

⑦ 管領

⑧ 守護

⑨ 守護大名

室町幕府の仕組みを理解するとともに、室町時代には守護の力が強くなったことをおさえよう。



No.31 東アジアとの交流

年 組

氏名

/8問

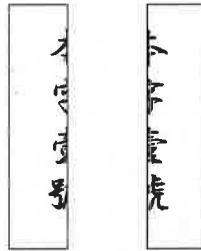
次の () に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

1 元がおとろえると、漢民族が (①) を建国し、モンゴル民族を北に追い出した。

2 西国の武士や商人、漁民が、集団をつくって貿易を強要し、船をおそい、大陸沿岸をあらした。これを (②) という。

3 明が足利義満に (②) の取りしまりを求めると、義満はそれに応じる一方で、明と貿易をはじめた。この貿易を (③) という。

4 (③) では、倭寇と正式な貿易船とを区別するために、貿易船に右のような (④) という証明書をもたせた。



5 日本が明から輸入したもののうち、右のような (⑤) が国内の取り引きで使われるようになった。



6 朝鮮半島では、14世紀末に李成桂が高麗をほろぼして (⑥) を建てた。

7 15世紀初めに沖縄島を統一した尚氏は (⑦) を建国した。

8 蝦夷地 (北海道) では、13世紀から (⑧) が、狩りや漁、交易を行っていた。

【解答】

① 元

② 倭寇

③ 日明貿易 (勘合貿易)

④ 勘合

⑤ 明銭 (銅銭)

⑥ 朝鮮国

⑦ 琉球王国

⑧ アイヌ民族

日本と明との貿易は、何がきっかけで始まり、どのような形で行われ、何が取り引きされたのかをおさえよう。



No.32 産業の発達と民衆の生活

年 組

氏名

/9 問

次の () に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

1 南北朝の動乱が終わって社会が安定したことや中国との貿易によって、京都市の(①)や福岡市の(②)で絹織物が生産されるなど、各地で産業がさかんになった。

2 交通のさかんなところでは、右のような物資を運ぶ(③)や、(④)と呼ばれる運送業者をかねた倉庫業者が活動した。



(石山寺縁起絵巻 模本 東京国立博物館蔵)

3 貴族や寺社の保護を受けて営業を独占する権利を認められた、商人や手工業者の同業者団体を(⑤)という。

4 京都では、(⑥)と呼ばれる裕福な商工業者によって都市の政治が行われ、右のような(⑦)が盛大にもよおされた。



(洛中洛外図屏風 米沢市上杉博物館蔵)

5 有力な農民を中心に村ごとにつくられた自治的な組織を(⑧)という。

6 団結した農民が、荘園領主や守護大名に年貢の軽減を要求したり、土倉や酒屋をおそったりしたことを(⑨)という。

【解答】

- ① 西陣
- ② 博多

- ③ 馬借
- ④ 簡

- ⑤ 座

- ⑥ 町衆
- ⑦ 祇園祭

- ⑧ 惣

- ⑨ 土一揆

鎌倉時代の産業とのちがいを比べながら、室町時代の産業の特徴をおさえよう。



No.33 応仁の乱	年 組
	氏名

/8 問

次の () に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

1 細川氏と山名氏が8代将軍(①)のあとつぎ問題をめぐる対立したことから始まり、京都から全国に広がって11年におよんだ戦乱を(②)という。

2 浄土真宗の信仰で結びついた武士や農民たちは、領主に対して右の旗をかざして(③)をおこした。



(長善寺蔵)

3 実力のある者が、力をのばして上の身分の者に打ち勝つ風潮を(④)という。

4 応仁の乱ののち、守護大名の地位をうばって実権をにぎったり、守護大名が成長したりして、(⑤)が各地に登場した。

5 応仁の乱以後、(⑤)によってたがいに争われた時代を(⑥)という。

6 戦国大名が城の周辺に家来を集め、商工業者を呼びよせてつくった町を(⑦)という。

7 戦国大名が領国内の武士や民衆の行動を取りしめるため、独自に定めた右のような法令を(⑧)という。

一 本拠である朝倉館のほか、国内に城を構えてはならない。すべての有力な家臣は、一葉谷に引越せ、村には代官を置くようにしなさい。
(朝倉孝景 条々)

【解答】

- ① 足利義政
- ② 応仁の乱

- ③ 一向一揆

- ④ 下剋上

- ⑤ 戦国大名

- ⑥ 戦国時代

- ⑦ 城下町

- ⑧ 分国法

応仁の乱によって、それまでの社会がどのように変化したのかをおさえよう。



No.34 室町時代の文化

年 組

氏名

／9問

次の () に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

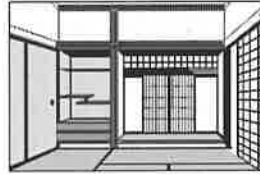
1 猿楽や田楽などの芸能は、観阿弥・世阿弥親子によって、現在まで続く (①) として大成された。

2 足利義満が京都の北山の別荘に建てた右の建物を (②) という。



3 足利義満の時期の文化を特に (③) という。

4 右のように、たたみをしき、ふすまやしょうじで仕切り、床の間を設けた建築の様式を (④) という。



5 日本では雪舟が完成させた、墨一色で自然などを表現する絵画を (⑤) という。

6 足利義政が京都の東山の別荘に建てた建物を (⑥) という。

7 足利義政の時期の文化を特に (⑦) という。

8 能の合間に演じられ、民衆の生活や感情をよく表した芸能を (⑧) という。

9 「一寸法師」などの絵入りの物語を (⑨) という。

【解答】

① 能

② 金閣

③ 北山文化

④ 書院造

⑤ 水墨画

⑥ 銀閣

⑦ 東山文化

⑧ 狂言

⑨ 御伽草子

室町時代の文化で、現在の日本の生活に残っているものをあげてみよう。



No.35 中世の年表 1	年 組
	氏名

/20 問

次の () に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

【解答】

時代	年代	できごと
①) 時代	10 世紀	武士の成長
	935 年	(②) の乱
	939 年	(③) の乱
	1086 年	白河上皇が (④) を始める
	1156 年	(⑤) の乱
	1159 年	(⑥) の乱
	1167 年	(⑦) が太政大臣となる
	1185 年	平氏が (⑧) の戦いでほろびる
⑨) 時代	1185 年	(⑩) ・ (⑪) 設置
	1192 年	(⑫) が征夷大将軍となる
	13 世紀前半～	北条氏による (⑬) 政治が始まる
	1221 年	(⑭) の乱
	1232 年	(⑮) の制定
	13 世紀	鎌倉文化が発展する
	1206 年	(⑯) がモンゴルを統一
	1274 年	(⑰) の役
	1281 年	(⑱) の役
	1297 年	永仁の (⑲) 令
	1333 年	(⑳) がほろびる

- ① 平安
- ② 平将門
- ③ 藤原純友
- ④ 院政
- ⑤ 保元
- ⑥ 平治
- ⑦ 平清盛
- ⑧ 壇ノ浦
- ⑨ 鎌倉
- ⑩ 守護
- ⑪ 地頭
- (⑩ ・ ⑪ は順不同)
- ⑫ 源頼朝
- ⑬ 執権
- ⑭ 承久
- ⑮ 御成敗式目 (貞永式目)
- ⑯ チンギス・ハン
- ⑰ 文永
- ⑱ 弘安
- ⑲ 徳政
- ⑳ 鎌倉幕府

平安時代の終わりから鎌倉時代にかけての重要なできごとを確認しよう！



No.36 中世の年表 2	年 組
	氏名

/9 問

次の () に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

【解答】

時代	年代	できごと
(3) 時代	1333 年	(1)) の新政
	1336 年	(2)) 朝の対立が始まる
	1338 年	(4)) が征夷大將軍となる → (5)) の成立
	14 世紀～	(6)) 大名の成長
	1368 年	中国で (7)) が建国される
		・ (8)) が活動を活発化させ、大陸沿岸をあらす
	1392 年	3代將軍 (9)) が (2) 朝を統一する

- ① 建武
- ② 南北
- ③ 室町
- ④ 足利尊氏
- ⑤ 室町幕府
- ⑥ 守護
- ⑦ 萌
- ⑧ 倭寇
- ⑨ 足利義満

建武の新政から南北朝の統一にかけての重要なできごとを確認しよう！



No.37 中世の年表 3	年 組
	氏名

/13 問

次の () に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

【解答】

時代	年代	できごと
① 時代	1404 年	・足利義満 <small>あしかがよしみつ</small> が京都 <small>きょうと</small> に ③) を建てる
	1428 年	・ ④) 文化
	14 世紀末	正長の ⑥) がおこり、幕府に徳政 <small>とくせい</small> を要求する
	15 世紀前半	李成桂 <small>りせいけい</small> が ⑦) を建国
	1467 年	高氏 <small>たかう</small> が ⑧) を建国
② 時代	1485 年	⑨) の乱がおこる
	1488 年	・ ⑩) の風潮
		・ ② 大名 <small>だいみょう</small> の登場
		山城国 <small>やましろのくに</small> 一揆 <small>いっぎ</small> がおこる
	加賀 <small>かが</small> で ⑪) 一揆がおこる	
	・足利義政 <small>あしかがよしまさ</small> が京都 <small>きょうと</small> に ⑫) を建てる	
	・ ⑬) 文化	

- ① 室町むろまち
- ② 戦国せんごく
- ③ 金閣きんかく
- ④ 北山きたやま
- ⑤ 日明にちみん (勘合かんごう)
- ⑥ 土一揆つちいっぎ
- ⑦ 朝鮮国ちようせんこく
- ⑧ 琉球王国りゅうきゅうおうこく
- ⑨ 応仁おうにん
- ⑩ 下剋上げこくじやう
- ⑪ 一向いっこう
- ⑫ 銀閣ぎんかく
- ⑬ 东山ひがしやま

中世の主なできごとを、年表で再確認しながらまとめてみよう！

